

担い手育成に期待

1/6 鹿

鹿工高に測量機器贈呈
県建設業協会

県建設業協会（川畑俊彦会長）は14日、社会貢献活動の一環として鹿児島市の鹿児島工業高校（野中久光校長）に最新測量機器一式を贈呈した。



写真に納まる川畑会長（左）と野中校長＝鹿児島市の県建設センターで

3年4月1日）に伴うもので、今年で4回目。若年技術者の入職促進を図るとともに、日ごろの実習に役立ててもらおうと、県内の土木系学科のある4校に1台当たり約130万円相当のトータル

ルステーション（㈱トプコン製）を贈呈する。同日、鹿児島市の県建設センターであった贈呈式には、野中校長と榊山信人教諭らが出席し、川畑会長が同製品を両者に贈呈。野中校長は感謝の言葉を述べるとともに、「高校生ものづくりコンテストでは、本校生徒が県大会を通過し九州大会に出場する。最新機器を有意義に活用し技術を高め、全国大会へつなげていきたい」と意気込みを語った。

川畑会長は「今後の担い手育成につながれば、1人でも多くの生徒が、本県の建設業界へ進んで

くれたらうれしい」と期待を込めた。

加治木工高に測量機器贈呈

1/6 鹿

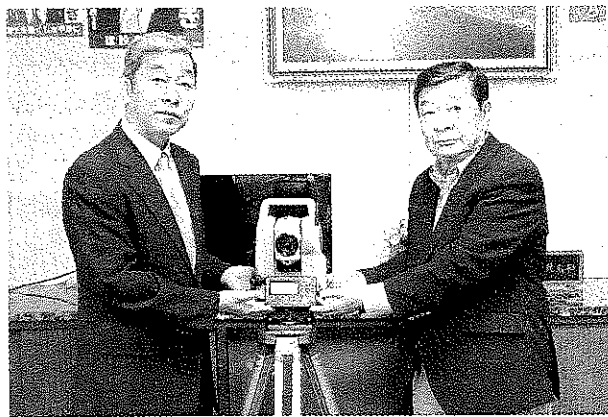
地元企業への就職を

建協加治木支部

県建設業協会加治木支部（木山裕継支部長）は6日、地元建設業への若者の入職促進を目指して県立加治木工業高校（満丸浩校長）に測量機器のトータルステーションを寄贈した。

協会の一般社団法人移行に伴う社会貢献事業。若年入職者確保対策でもあり、日ごろの実習に役立ててもらおうと、県内の土木系学科がある4高校（鹿児島工業、加治木工業、鹿屋工業、鹿屋農業）に贈呈する。トータルステーションは㈱トプコン製で1台当たり約130万円相当。

始良市の始良郡建設会館であった贈呈式には、同校から満丸校長、土木科の里勝志、阿蘇孝之両



写真に納まる木山支部長（右）と満丸校長＝始良市の始良郡建設会館で

教諭が出席。満丸校長は「非常にありがたい。土木の優秀な技術者を増やさなければならぬ。学校教育の中で有効に活用していく」とお礼を述べた。同校土木科生徒は8

割が土木専門職に就職している。木山支部長は「今年で4回目となるが、日ごろの学習に役立ててもらい、若い人が建設業に魅力を持ち、地元企業に就職してほしい」と期待を込めた。

鹿屋工高、農高に測量機器贈呈

技術向上に活用を

建協鹿屋支部



贈呈後に写真に納まる関係者＝鹿屋市の鹿屋建設会館で

県建設業協会鹿屋支部（谷口幸司支部長）は16日、鹿屋市の鹿屋建設会館で鹿屋工業高校（田代裕一郎校長）と鹿屋農業高校（長

雅秀校長）に最新測量機器を贈呈した。

贈呈は協会の一般社団法人移行に伴う社会貢献事業で、2013年から続き4回目。建設業の担い手不足が大きな課題となる中、若年技術者の入職者確保対策とともに、実習や就職の際に役立ててもらおうと県内の土木系学科がある4高校にトータルステーションと脚立をセットで贈った。（株）トパソコン製で1台当たりは定価で約130万円相当。贈呈式には、谷口支部

長をはじめ、田代校長と長校長、両校の進路指導部の建設技術系の教諭らが出席。谷口支部長は「将来を担う若い人が、最新の測量機器を十分活用し、技術力向上などに

役立ててほしい」と挨拶。これを受け、長校長と田代校長は「高価な機器をいただき、測量に興味や関心を持って実習等で活用しています。大事に使います」「毎年、高価

な測量機器の贈呈に感謝します。当校では測量士や測量士補試験等にも多くの合格者を出しており、生徒たちの力になれるよう活用します」と感謝した。